

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）、またはご遺族の方で、試料・情報が本研究に用いられることについて、ご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	造血器悪性疾患患者に対する症状緩和、終末期治療の実態調査	
1. 研究の目的と方法	血液がんの患者さんに対する症状緩和・終末期ケアの提供は、他のがん患者さんと比較して課題が多いことが指摘されております。この課題を克服するためには、造血器悪性疾患の患者さんが抱える苦痛を知り、どのような治療が提供されているのかを把握し、検討することが必要と考え、今回の研究を計画いたしました。本研究は、当院腫瘍・血液内科にご入院中に、緩和ケアチームが診療を行った造血器悪性疾患の患者さんに対して行われたつらさを緩和する治療や終末期の治療についての内容調査の研究です。カルテの情報を収集し、評価・検討を行います。	
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。	
3. 対象となる方等	東京慈恵会医科大学附属病院腫瘍・血液内科で診療された造血器悪性疾患の患者さんのうち、2020年7月1日～2024年6月30日の間に緩和ケアチームが介入を行った18歳以上の患者さん。	
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。
	(3) 情報の種類	・ 患者さんの基本情報：性別、年齢（介入時）、身体的苦痛、精神的苦痛（不眠や不安など）、社会な苦痛（仕事や家族の悩みなど）、スピリチュアルペイン（気持ちのつらさ、悩みなど） ・ 疾患情報：疾患名、介入時の病状（寛解、不変、増悪など） ・ 治療情報：行われた抗がん剤治療の数、移植治療の有無、緩和ケアチームがかかわった時に抗がん剤治療中であったかどうか、移植後の免疫異常の合併の有無、その他の合併症 ・ 緩和ケアチームが診療した理由（主治医からの相談内容） ・ 緩和ケアチームが診療した期間：延べ日数 ・ 緩和ケアチームが診療を開始してからお亡くなりになるまでの日数（お亡くなりになられた症例についてのみ） ・ 症状を緩和するための治療内容：医療用麻薬を使用したかどうか、医療用麻薬の1日あたりの最大投与量、鎮痛補助剤（麻薬以外の痛み止め）使用の有無、鎮静剤使用の有無、鎮静剤の1日最大投与量、緩和的な放射線治療の有無、ケタミン（痛み止め・麻酔薬）の使用の有無、向精神薬（混乱を和らげる薬剤）の使用の有無、症状を和らげるためのステロイド投与の有無、家族支援の有無 ・ 終末期治療情報（調査時にお亡くなりになっておられる方についてのみ）：死亡時緩和ケアチームの診療が継続中であったか否か、亡くなられた場所、お亡くなりになる1週間輸血施行の有無、亡くなられた際の抗菌薬治療の有無、最期に心肺蘇生術を行わないという

		同意を取得していたかどうか、その同意からお亡くなりになるまでの期間、「人生会議（いざというときに備えた患者さん・ご家族と医療者の間での話し合い）」施行の有無	
	(4) 情報の取得の方法	電子カルテの記載内容から情報を収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 緩和ケア診療部
		氏名	上田響子
	(2) 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学 内科学講座 腫瘍血液内科 酒寄葉	
	(3) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025 年 10 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 緩和ケア診療部 研究責任者：助教 上田響子（うえだ きょうこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 3127） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。